



千葉 正司さん(67)
悦子さん(64)
＝衣川区清水の上＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

長年寄り添い、共に音楽を奏で続けてきた衣川区の千葉夫妻。ご自宅の茶箆筒には、2人の思い出とトロフィーが所狭しと並べられていました。若い頃、結婚に憧れを抱いていた正司さん。結婚相手には、絶対に譲れない条件がありました。それは、音楽とスポーツが好きなこと。しかし同じ趣味の女性にはなかなか出会えず、16回目のお見合いでやっと巡り会えたのが悦子

さんでした。

結婚後、2人はさまざまな音楽活動に取り組みました。民謡、神楽、大黒舞、ちんどん屋、地域の運動会での歌や踊り——何をするにもいつも一緒でした。2人の息子も自然と音楽に親しむようになり、家族4人で地域のお祭りの舞台に立ったことも。「息子たちはお腹の中にいた頃から、私たちの音楽を聴いていたんでしょ」と悦子さんは笑いに笑いました。

結婚して37年。活動を重ねるたび、夫婦共通の思い出が増えました。悦子さんが股関節を痛め、現在は踊ることが難しくなりましたが、正司さんは「一緒にやってくれなかつたら、ここまで活動の範囲は広がらなかつた」と悦子さんの協力で感謝しています。「同じ趣味の人と結婚してよかった。妻と一緒に音楽を続けて来られたことは、人生の幸せです」

夢トーク

45

将来の夢は「アナウンサー」



大島 百夏さん
(江刺区・広瀬小学校6年)

Interview

——学校での役割は？

放送委員長を務めています。朝や昼の校内放送で、みんなに自分の声が届くのが楽しいです。聞いている人も楽しくなるような放送を心掛けています。

——好きな教科はなんですか？

家庭科と国語です。家でも料理の手伝いをしていて、祖母と一緒にカレーやすいとんを作ります。国語では漢字を練習して、漢字検定に挑戦してみたいです。

——打ち込んでいることは？

保育園の頃から続けているバレエです。4月にはささらホー

ルで発表会があって、楽しく踊ってきました。

——将来の夢を教えてください。

アナウンサーです。4年生の遠足でテレビ局を見学した時、いち早く情報を伝えられていい仕事だなと思いました。岩手のテレビ局で働きたいです。

——夢を叶えるために、がんばっていることはなんですか？

滑舌をよくするために、早口言葉を練習しています。テレビを見ている人に「上手だな」と思ってもらえるような話し方ができたらいいな。

中高生の部活動や
委員会活動を紹介

9

青春讃歌

小山中学校 野球部

- ◎部員数 23人
- ◎顧問 高橋 学 先生
- ◎部長・主将 高橋 和真 君
- ◎副部長 及川 龍 君



強い心で 県大会に「絶対出場」

鮮やかな青と白のユニフォームがグラウンドに映える小山中学校野球部。3年生にとって最後の中学校総合体育大会を目前に控えた選手たちからは、同じグラウンドに立つだけでその気迫が伝わります。

昨年の新人大会は初戦敗退。優勝候補と言われる相手に圧倒され、練習の成果を十分に発揮できませんでした。「闘志なき者は去れ」——バックネットに文字を掲げ、同部が代々引き継いできた心構え。全力で練習を重ね、自信をつけて中総体では雪辱を果たすと誓いました。

ことしの部員は数年ぶりに20人超え。それでもチームワークは「ここ最近で一番いい」と顧問の高橋先生は語ります。3年生が5人と少なく、1・2年生が試合に出場する機会が多い中でも「いばらず、腐らず、真摯にやってきた3年生のおかげ」と高橋先生は3年生をたたえます。ベンチ入りの競争が生まれたことで、チーム内での切磋琢磨にもつながっている同部。新人大会で味わった悔しさをバネに全力で取り組んできた練習、そして毎日の素振りでも部員たちは徐々に強い心を身に付けてきました。

6月21日から始まる中総体、初戦はくしくも新人大会で敗れた相手との対戦。「絶対に県大会に出場する」と表情を引き締める高橋主将をはじめ、部員たちの目に迷いや弱さはもう見えません。これまでの努力を信じ、確かな自信を持って試合に臨みます。



毎日の素振りでスイング
スピードも上がった



おうしゅう 羅針盤

木々の緑もますますその青さを増しておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

先月、奥州名誉大使として活躍いただいている及川光夫さん（京都市在住）から西陣織の見本織75点を張り合わせた屏風が寄贈されました。

屏風は東日本大震災からの復興を願い1年半かけて制作されたものです。遠く離れても故郷を想っていただく心遣いに心より感激しています。

この屏風は、皆さまにご覧いただけるようにイベントなどで活用していきます。

5月18日にドイツ・マインツ大学の齋藤武彦教授をお迎えし「子どもたちに伝えたいILCの魅力」と題して講演会を開催しました。また、先月から市内全12校の中学2年生を対象としたILC出前授業が田原中学校を皮切りに始

まっています。世界に一つ建設されるILCについて、子ども達が目を輝かせて聞きます。このような取り組みを通してILCへの理解を深めるとともに、人材育成につながることを期待します。

5月はスポーツの話題に注目です。プロ野球では、先月13日に先登板した本市出身の大谷翔平選手（北海道日本ハム）がプロ初完封勝利を収めました。既に昨年の勝利数を上回る活躍です。また、重量挙げの全日本選手権大会が江刺中央体育館で開催され、男子56kg級に出場した岩谷堂高校出身の艾幸太選手が初優勝しました。本県男子では28年ぶりの快挙という事です。

5月28日にはチャレンジデーを開催しました。ことしは初参加の鹿兒島霧島市との対戦で、参加率が昨年より10%以上も上回る過去最高の65・5%となり、4年ぶりの勝利に沸きました。このスポーツの盛り上がりを見て国体にもつなげてまいります。

奥州市長 小沢昌記